



いわき平ロータリークラブ週報

創立 1953.6.18

承認 1953.6.29

<http://iwakitaira-rc.jp/>

■事務局 / 福島県いわき市平字白銀町 4-13 不二屋第二ビル2F

(0246) 25-3000

■例会場 / いわきワシントンホテル椿山荘

(0246) 35-3000

■例会日 / 毎週木曜日 p.m.12:30 ~ 13:30

会長：佐々木貢一 幹事：渡邊 有 発行：会報・広報委員会

第 3322 例会 (15号) 2023 年 10 月 19 日 (木) 晴れ

ガバナー補佐卓話 SPEECH



いわき分区ガバナー補佐

大平 守彦様

1. 「報徳」について

私の会社は「報徳」という名前を使っております。

勤儉力行の象徴である二宮尊徳に傾倒した私の祖父が「株式会社 力行会」として会社を起ち上げ、その後「株式会社 報徳」と名前を変えて営業をしておりました。

今は、報徳の子会社である「ホートク物産」と報徳から分社した「報徳保険サービス」、財団法人の「福島県報徳社」という三社のみ残っております。

この「報徳」という言葉は元々論語の「以德報徳」(徳を以って徳に報いる)を語源とする言葉ですが、二宮尊徳が天保元年に小田原藩主の大久保忠真公に面会したときに、忠真公から「なんじの道は『徳を以って徳に報いる』ということだな」と言われ、「以德報徳」の書をもったことから、二宮尊徳の教えを「報徳」の教えと呼ぶようになったといわれています。

報徳という会社では「事業で得た利益を社会に還元する」という考え方で、利益の一部を財団法人を通じて寄付を行ったり、奨学金として活用したり、著名人による講演会なども行っておりました。

こういった考え方はロータリーの考え方と相通ずるものがあるのではないかと思います。

かの松下電器産業の創業者であり、大阪ロータリークラブの会員でもあった松下幸之助氏も二宮尊徳の報徳思想に傾倒した一人だといわれています。

2. 「報徳の倫理観」について

私の倫理感はどこで培われたのかというと、「報徳」という考え方からです。

報徳の教えには「至誠、勤労、分度、推譲」という四つの言葉があります。

至誠：真心を尽くして、人や物事にあたる姿勢

常に相手の立場に立ち、思いやりを持つ。「ありがとう」の感謝の気持ちを表し、謙虚さを持つ。自然と周りも明るくなり、道が開け良い生き方ができる。

勤労：与えられた環境を受け入れ、目の前の仕事に打ち込む姿勢

働くことは、生活の糧と同時に人の為になる喜びを持つこと。利他を念頭に至誠を持って働く。必ず成果は後から現れる。

分度：収入の範囲で支出をする。足るを知る姿勢

尽きることのない欲をコントロールして分限を守ること。身の丈に合った生活をするることによって安心が得られる。財政再建や企業運営の基準。積小為大でコツコツが大切。入るを量って出を制す

推譲：人に譲る気持ちの大切さを常に持つ姿勢

我先にはではなく、お先にどうぞの気持ちが人生の秘訣。日常に感謝をして、相手を思う謙虚さがあれば幸せを掴むことが出来る。社会還元循環が回り始めると社会は豊かになる。

また、二宮尊徳の考え方を纏めたものに「報徳訓」というものがあります。

報徳訓

父母根元在天地命令 身體根元在父母生育
子孫相贖在夫婦丹精 父母富貴在祖先勤功
吾身富貴在父母積善 子孫富貴在自己勤勞
身命長養在衣食住三 衣食住三在田畠山林
田畠山林在人民勤耕 今年衣食在昨年産業
来年衣食在今年艱難 年々歳々不可忘報徳

意味

人は天地の恩徳と、親、先祖の恩徳によってこの世に生まれることが出来、いろいろなものの恩徳によって生かされている。その恩徳に報いることが報徳であり、人の道である。

我々が豊かな暮らしが出来るのは、先祖の努力のお陰であり、我々の子供、孫に豊かな暮らしをさせるには、我々が一生懸命働かなければならない。

長生きをするには、衣食住のバランスをよくしなければならぬし、衣食住を良くするためには、それらを創ってくれる田畑、山林を良く手入れしなければならない。

今年の暮らしは昨年働いたもので、来年の暮らしは今年働いたもので、というように余裕をもって暮らすべきである。

このことは何時の時代になっても変わることがないので、すべてのものに感謝し、すべての徳に報いる、すなわち「報徳」のこのころを忘れてはならない。

3. 「報徳思想とロータリー」について

日本におけるロータリーの歴史を見たとき、戦前から戦



2023~2024年度国際ロータリーのテーマ

「世界に希望を生み出そう」

CREATE HOPE in the WORLD

「出席はロータリアンの3大義務の1つです」

中にかけて、ロータリーの例会が官憲の監視下に置かれた時期があったと教わりました。そのため日本という国家に対して忠誠を誓うことを表すために国旗掲揚と国歌斉唱を取り入れたといわれています。

そのような中ロータリーの発想と類似点がある二宮尊徳の報徳思想、石田梅岩の石門心学、三方よしとする近江商人の経営理論を借りてロータリーの職業奉仕を説いたともいわれています。

過酷な資本主義の競争の中から、それを修正するために生まれたロータリーの考え方や、徳を重んじる封建的な社会から生まれた思想とは本質的な違いがあって当然であり、必ずしも同じではないのかもしれませんが。

しかしながら、日本人として生まれてきて、二宮尊徳の行ってきた農村復興や、祖父、父が行ってきたことを見てきた私にとってはロータリーと報徳思想は決して違うもの

ではなく、根本にある「奉仕」という考え方は同じであろうと考えます。

それは「決議23-34の第1条」を見ても感じるところであり、共感できることが多いと思います。

現代人として、報徳思想が全てということではありませんが、私の倫理の根底にあるということは紛れもない事実であります。

「サービスを自己の利益や都合よりも優先する。利益はサービスの結果である。相手のために最善のサービスをすれば、結果として最大の金銭的な利益と、大きな精神的満足が得られる。」ということ意識して仕事にもロータリーにも取り組んでいきたいと思っています。

11月18日にいわきワシントンホテル椿山荘で新入会員セミナーを開催します。多くのご参加をお待ちしています。

司会：渡邊有幹事

〔点鐘・ロータリーソング（奉仕の理想）・四つのテスト（中野崇之会員）〕



中野崇之会員

★結婚祝



中野 崇之さん
(10月22日)

★誕生祝



稲葉 廣直さん
(10月29日)



阿部 弘行さん
(10月30日)

ハッピーバースデーソング斉唱

◆会長挨拶ならびに報告



米山月間ということで、元奨学生の話に聞く機会を設けて頂き、ありがとうございました。

◆幹事報告

・ハイライトよねやまが届きました。



◆委員会報告・会員報告

◆出席委員会（小林隆太委員長）

例会日	基本会員数	出席者	メンバー数
10月19日	50名	27名	—

◆ロータリー財団委員会（代理・森雄治会員）

佐々木貢一さん、関口武司さん、阿部弘行さん、越智正典さん。以上4件

◆米山記念奨学会委員会（森雄治委員長）

佐々木貢一さん、大久保健蔵さん、関口武司さん。

以上3件

◆国際奉仕委員会（伊藤盛敏委員長）

今年度の国際大会の案内が来ました。シンガポールで開催されます。登録料はクラブで負担しますので、たくさんの参加のほどお願い致します。

◆スマイルボックス委員会（関口武司委員長）

♥いわき分区様(お世話になります)♥佐々木貢一さん(ソータイさんを歓迎して。大平守彦いわき分区ガバナー補佐、卓話よろしくお願ひします)♥稲葉廣直さん(誕生祝ありがとうございます。先日、新舞子の海岸林再生活動多くのご参加ありがとうございました)♥伊藤盛敏さん(3カ月皆出席賞ありがとうございます。ダブルベリアのコンペがクセになりそうです)♥関口武司さん(大平ガバナー補佐、鈴木幹事を歓迎して)♥阿部弘行さん(大平ガバナー補佐を歓迎して)♥有賀行秀さん(大平ガバナー補佐、ソータイさんを歓迎して)♥大久保健蔵さん(大平ガバナー補佐、ソータイ君を歓迎して!)♥森雄治さん(ソータイ君おかえりなさい)♥松崎浩さん(3カ月皆勤賞ありがとうございます)♥新妻純男さん(3カ月皆出席賞ありがとうございます)♥郡二三子さん(大平ガバナー補佐、鈴木幹事ご苦労様です)以上12名

★本日の例会案内 10月26日(木) 18:30~
観月例会 会場: 天地間

★次回の例会案内 11月2日(木) 12:30~
会員卓話 遠山良浩会員
お食事メニュー=ステーキ重